

1. 研究課題名：RF-1003 環境ストレスが及ぼす生物影響の評価手法の開発

2. 研究代表者氏名及び所属：

北野 健（熊本大学大学院自然科学研究科）



3. 研究実施期間：平成 22～24 年度

4. 研究の趣旨・概要

近年、多くの化学物質が及ぼす生物への影響メカニズムが明らかとなりつつあるが、TBT(トリブチルスズ)のように、生物の雄化を誘導する物質については、詳細な分子機構が解明されていない。申請者は、最近、高温処理による雄化が、ストレスホルモン(コルチゾル)量の上昇により引き起こされる事を初めて証明した。これらの事から、TBTによる雄化もストレス誘起が一因である可能性が考えられるが、この環境ストレスを評価する方法は未だに確立されていない。

本研究では、すでに作製した遺伝子導入メダカを用いて、環境ストレスが及ぼす生物影響の評価手法の開発を目指す。

これにより、化学物質の新たな作用機構を発見でき、緊急な対策に繋げる事が期待できる。

5. 研究項目及び実施体制

①環境ストレスが及ぼす生物影響の評価手法の開発（熊本大学）

6. 研究のイメージ

RF-1003 環境ストレスが及ぼす生物影響の評価手法の開発
(熊本大学)

